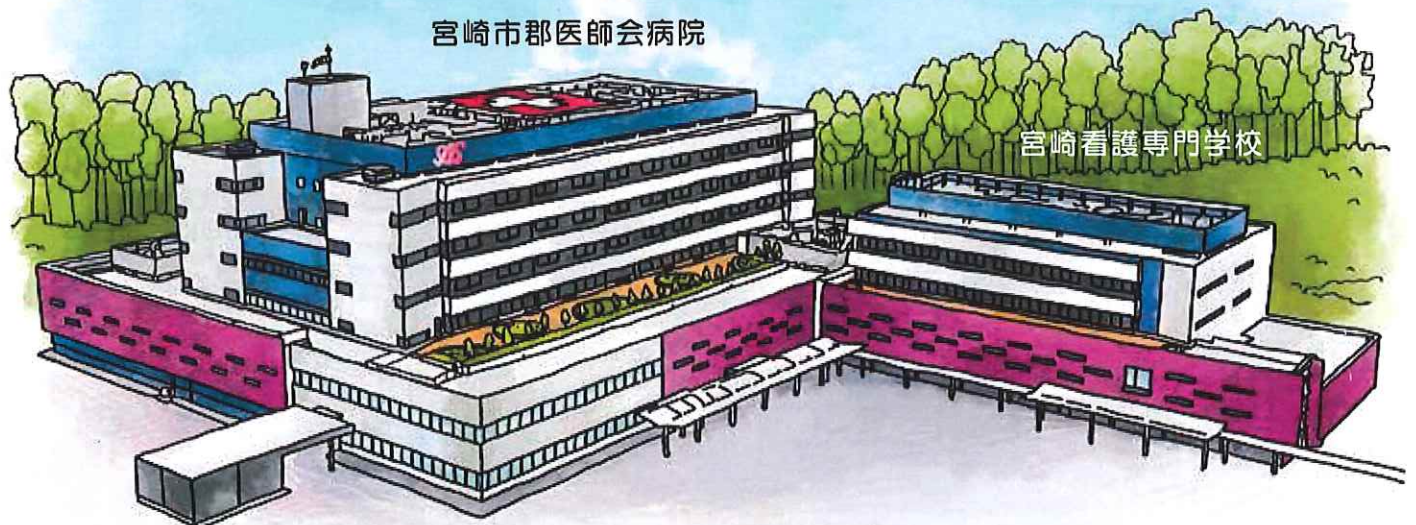


公益社団法人 宮崎市郡医師会

宮崎看護専門学校のご案内

MIYAZAKI NURSING TECHNICAL SCHOOL GUIDANCE



県内初の看護師三年課程昼間定時制

働きながら学べる看護学校です。



ご挨拶

本校は、昭和27年4月に宮崎准看護婦学校として設立され、昭和55年4月に専修学校へ移行、宮崎看護専門学校（医療高等課程・医療専門課程）となり、令和7年4月より、看護師3年課程昼間定時制へ移行しました。

これまでに准看護師・看護師として多くの学生が卒業し、県内外の医療機関はもちろんのこと、介護施設・福祉施設でも活躍しており、公益社団法人宮崎市郡医師会の事業として、地域医療・地域保健に貢献しているものと自負しております。

令和2年9月には新築移転により、同じく公益社団法人宮崎市郡医師会の事業である宮崎市郡医師会病院と隣接しており、医師会病院の医師・看護師・その他職員による講義、充実した実習など、看護職を目指すための環境が整っております。

これからの超高齢化社会において、医療機関だけでなく訪問看護や介護施設など、看護師の需要が非常に高まっていることから、一人でも多くの看護師を育成していくことが私達の使命であると考えております。



教育理念

人間愛に基づいた、いたわりと思いやりのある人材の育成と、看護に必要な専門的知識・技術の習熟に支えられ、高度化する医療技術に対応できる看護のプロフェッショナル育成に力を注ぎ、地域医療に貢献する。

教育目的

看護学に必要な知識、技術を習得し、生命の尊厳と多様な価値観を尊重できる豊かな人間性を身に付け、地域医療に貢献できる人材を育成する。

教育目標

- 1) 生命の尊厳と多様な価値観を尊重できる豊かな感性と態度を養う。
- 2) 看護師の責務を自覚し、専門職として医療倫理に基づいた看護が実践できる基礎的能力を養う。
- 3) 人間を身体的・精神的・社会的に統合された存在として理解できる能力を養う。
- 4) あらゆる健康レベル・発達段階の対象に、科学的根拠に基づいた臨床判断を行うための基礎的能力を養う。
- 5) 看護師として人間関係を構築するために必要なコミュニケーション能力を身につけ、社会人基礎力の向上を図る。
- 6) 看護師の役割を理解し、多職種と連携・協働しながら地域で生活する人々へ看護を提供する基礎的能力を養う。
- 7) 看護のプロフェッショナルを目指して常に実践から学び続け、看護の質の向上を図る基礎的能力を養う。

アドミッション・ポリシー（入学時に求める学生像）

- 1) 宮崎が好きで、地域医療に貢献したい人。
- 2) 看護に関心を持ち、主体的に学習できる人。
- 3) 自分の生活を整え、健康管理ができる人。
- 4) 多様な価値観を認め合い、自他共に大切にできる人。
- 5) 自分を客観視し、誠実で責任を持って行動できる人。

ディプロマ・ポリシー（卒業認定の方針）

- 1) 人間が尊厳ある存在であることを理解し、医療倫理に基づいた責任ある行動がとれる。
- 2) 看護師として必要な知識・技術を習得し、科学的根拠に基づいた臨床判断ができる。
- 3) 対象と良い人間関係を築き、より発展させるためのコミュニケーションがとれる。
- 4) 地域で生活する人々に、保健・医療・福祉チームの一員として協働することができる。
- 5) 看護のプロフェッショナルを目指し、自己の目標に向かい学びを継続できる。

沿 革

昭和27年4月	高千穂通の県立宮崎病院敷地内に宮崎准看護婦学校として開校
昭和28年5月	宮田町の宮崎県医師会館内に移転
昭和35年6月	橘通東（旧・東雲町）に移転
昭和36年4月	校名を宮崎准看護学校に改め、1学年定員60名に変更
昭和38年4月	准看護学校の1学年定員100名に変更
昭和40年4月	准看護学校の1学年定員120名に変更
昭和45年9月	併設校として宮崎市郡医師会高等看護学校を開校（2年課程：1学年40名）
昭和54年4月	准看護学校の1学年定員100名に変更
昭和55年4月	大坪西へ移転 各種学校から専修学校に移管 校名を宮崎看護専門学校に変更 准看護学校を医療高等課程に、高等看護学校を医療専門課程とする。
平成5年4月	医療専門課程の1学年定員50名に変更
平成11年4月	医療専門課程を単位制に変更
平成14年4月	医療高等課程の授業時間数を1,500時間から1,890時間に変更
平成22年4月	医療専門課程の単位を62単位から65単位以上に変更 授業時間2,100時間を2,180時間以上に変更
令和2年9月	有田に移転
令和5年3月	医療高等課程募集停止
令和7年3月	医療専門課程募集停止
令和7年4月	3年課程昼間定時制（看護学科、1学年定員40名）へ移行



本校の課程について

課程名	修業年限	1学年定員	備考
専門課程（看護学科）	4年	40名	単位制

宮崎県内初の看護師3年課程昼間定時制（隔日全日登校）です。

希望があれば医療施設などで働き、現場での経験を積みながら学ぶことが出来る学校です。

看護師3年課程は、学校教育法上の専修学校専門課程です。

入学資格

大学等の入学資格と同等になります。

- 高等学校もしくは中等教育学校（6年一貫教育校）を卒業
- または高等学校卒業程度認定試験（旧大学入学資格検定）に合格

一般入学試験に年齢制限はありません。

（高校推薦など、一部の入学試験には年齢制限をしていることがあります）

卒業後の資格

- ① 看護師国家試験・准看護師資格試験の受験資格
- ② 保健師・助産師学校等の受験資格
- ③ 看護専門士の称号授与

＊就業期間4年ですが大学卒ではありません。

専門士称号授与により、短大卒と同等となる場合があります。

本校は学校教育法第124条及び125条に規定される専修学校専門課程で、修業年限3年以上、102単位以上修得となります。

大学への3年次編入や保育士資格の取得など、卒業した専修学校の

の課程区分に制限がある場合があります。

進学先・認定機関などへ確認してください。



看護学科 授業科目及び単位数

分野	教育内容	科目名	単位数	分野	教育内容	科目名	単位数	分野	教育内容	科目名	単位数
基礎分野	科学的思考の基盤	論理学	1	基礎看護学		看護学概論	2	臨地実習		基礎看護学実習 I	1
		倫理学	1			基礎看護学 I	2			基礎看護学実習 II	3
		社会学・哲学	1			基礎看護学 II	2			地域・在宅看護論実習 I	1
		看護物理学	1			基礎看護学 III	2			地域・在宅看護論実習 II	2
		情報科学	1			基礎看護学 IV	2			精神看護学実習 I	1
	人間と生活・社会の理解	地域社会論	1	基礎看護学 V	2	精神看護学実習 II	2				
		現代人権論	1	地域・在宅看護論	地域・在宅看護総論	1	母性看護学実習 I			1	
		人間関係論	1		地域・在宅看護論 I	1	母性看護学実習 II			2	
		家族論	1		地域・在宅看護論 II	1	小児看護学 I			1	
		教育心理学	1		地域・在宅看護論 III	1	小児看護学 II			2	
		キャリアデザイン	1		地域・在宅看護論 IV	1	成人・老年看護学実習 I			1	
		英語	1	地域・在宅看護論 V	1	成人・老年看護学実習 II	2				
		コミュニケーション理論	1	精神看護学	精神看護学総論	1	成人・老年看護学実習 III			2	
		健康レクリエーション	1		精神看護学 I	1	統合実習			2	
小 計	14	精神看護学 II	1		小 計	23					
専門基礎分野	人体の構造と機能	解剖生理学 I	1	母性看護学		精神看護学 III	1	合計		104	
		解剖生理学 II	1			母性看護学総論	1				
		解剖生理学 III	1			母性看護学 I	1				
		生化学	1	母性看護学 II	1						
		栄養学	1	母性看護学 III	1						
		看護形態機能学	2	小児看護学		小児看護学総論	1				
		疾病の成り立ちと回復の促進	病理学			1	小児看護学 I				1
	臨床検査		1			小児看護学 II	1				
	薬理学		1			小児看護学 III	1				
	微生物学		1	成人看護学		成人看護学総論	1				
	疾病と治療 I		1			成人看護学 I	1				
	疾病と治療 II		1			成人看護学 II	1				
	疾病と治療 III		1			成人看護学 III	1				
	疾病と治療 IV		1			成人看護学 IV	1				
	疾病と治療 V	1	成人看護学 V	1							
	社会保障制度と生活者の健康	総合医療総論	1	老年看護学		老年看護学総論	1				
		公衆衛生学 I	1			老年看護学 I	1				
		公衆衛生学 II	1			老年看護学 II	1				
		公衆衛生学 III	1	老年看護学 III	1						
		看護関係法令	1	看護の統合と実践		看護管理とマネジメント	1				
		社会福祉論	1			医療安全	1				
	小 計	22	国際看護・災害看護			1					
専門分野						臨床看護統合演習	1				
						看護研究	1				
				小 計	45						

看護師 3 年課程、看護師 2 年課程の違い

3 年課程は無資格から直接看護師を目指す課程、2 年課程は准看護師から看護師へのステップアップを目指す課程となります。本校は 3 年課程ですが、定時制なので 4 年修業となります。

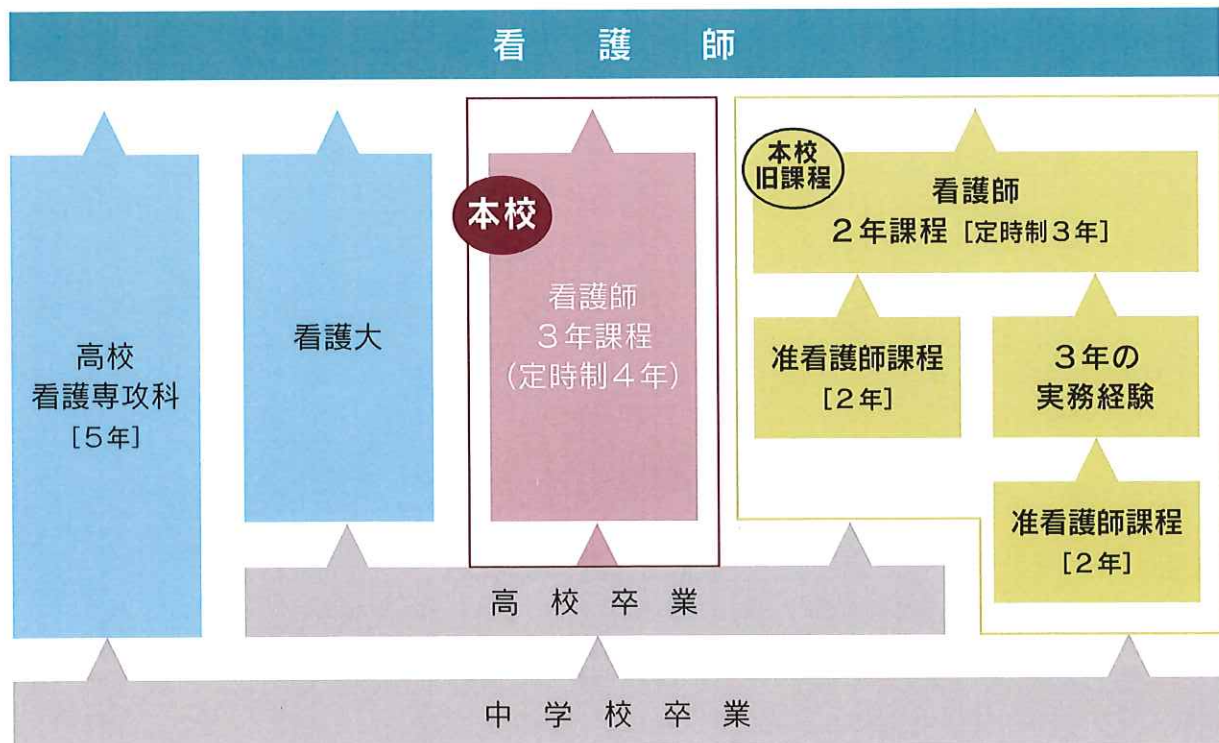
専修学校の課程の違い

	入学資格	備考
専門課程 3 年課程	高校卒業	本校はこちらの区分となります 奨学金などは大学等の扱い
専門課程 2 年課程	高校卒業または 中学校卒業後実務経験	奨学金などは大学等の扱い
高等課程	中学校卒業	奨学金などは高校等の扱い
一般課程	特になし、各学校が定める	調理・美術・和裁など多種多様

(参考) 本校の旧課程

課程名	区分	修業年限	備考
医療専門課程	専門課程 看護師 2 年課程 (夜間定時制)	3 年	単位制 69 単位 授業時数 2,190 時間以上
医療高等課程	高等課程 准看護師課程 (昼間定時制)	2 年	授業時数 1,890 時間以上

* 単位数、時間数については最終卒業生のものを記載しています。
看護師等養成所指定規則の変更により、入学年度によっては単位数と授業時数が違います。



学 費

4年修業ですが、他の宮崎県内3年課程と比べても低額の負担となっています。

1年次	納付金	備考
受験料	20,000円	受験手続き時に納付
入学金	180,000円	入学手続き時に一括納付
教科書代	200,000円	
授業料	420,000円	前期4月・後期9月に各210,000円納付
施設費	168,000円	前期4月・後期9月に各84,000円納付
実習費	36,000円	前期4月・後期9月に各18,000円納付
合計	1,024,000円	

2年次～	納付金	備考
授業料	420,000円	前期4月・後期9月に各210,000円納付
施設費	168,000円	前期4月・後期9月に各84,000円納付
実習費	36,000円	前期4月・後期9月に各18,000円納付
合計	624,000円	

計 2,896,000円／4年

授業料・施設費・実習費については、年2回（4月・9月）の窓口一括納付か毎月の口座振替（月額52,000円+1回手数料110円）での納付となります。

納入金は原則として返金しません。

この他、再試料・証明書代、予防接種代などの自己負担があります。

時間割例

学年ごとに月水金または火木土の隔日全日登校（※実習時を除く）

隔日の全日登校のため3年課程定時制となり、3年課程全日制より修業年限が1年長くなりますが、その分ゆとりが生まれ、休日には自己学習に専念したり、働いたりすることも可能です。

講 義		実 習 中	
9時10分～9時20分	ホームルーム	8時00分～12時00分	実 習
9時20分～10時50分	講 義 (90分)	12時00分～13時00分	昼 休 み
11時00分～12時30分	講 義 (90分)	13時00分～16時30分	実 習
12時30分～13時20分	昼 休 み	16時30分	帰 宅
13時20分～14時50分	講 義 (90分)	※時間割は変更となる場合もあります。 特に実習については、実習施設により変更があります。	
15時00分～16時30分	講 義 (90分)		
16時30分～16時40分	ホームルーム		
16時40分	帰 宅		



年間スケジュール

※年度により時期の変更、行事の中止などがあります。

	1 年	2 年	3 年	4 年
4月	入学式 学生交流会	学生交流会	学生交流会	学生交流会
5月	看護の集い	看護の集い	看護の集い	看護の集い
6月				
7月	特別講演	特別講演	特別講演	
8月	夏 休 み オープンキャンパス			
9月				
10月		戴灯式	演習開始 実習開始	実習終了 看護研究発表
11月	文化祭	文化祭	文化祭	文化祭
12月	冬 休 み			
1月	解剖見学			国試準備対策
2月	お別れ会	お別れ会	お別れ会	看護師国家試験 お別れ会
3月	春 休 み			卒業式 国家試験合格発表



制服について

通常の授業時については、指定ポロシャツ又は襟付きシャツでの登校となります。

証明写真の撮影や、入学式などの式典はスーツを着用します。

黒色のスーツ（ストライプについては華美でなければ可）、華美でないネクタイ、白色のシャツを準備してください。

刺青・タトゥー、頭髪について

実習先からの受入拒否や、患者さんからのクレームを防止するために、刺青、タトゥー、頭髪について指導を行います。

- 髪色については地毛か黒染めにするよう指導します。
- 実習先から拒否された場合、単位が取得できずに卒業できないことがあります。
- 特に刺青、タトゥーについては処置に時間と費用がかかることから

入学前に処置することを推奨します。



本校対象となる、各種奨学金、助成金について

宮崎県育英資金・日本学生支援機構奨学金・宮崎県看護師等修学資金については入学後の手続きとなりますので、入学前オリエンテーション時に説明します。

入学前に申請する助成金があります

宮崎県育英資金

- 要返還・原則利息なし。私立の専修学校専門課程区分となります。
基本的に月額26,000円、39,000円、52,000円からの選択です。

日本学生支援機構奨学金

- 要返還・区分によっては利息あり。専修学校専門課程区分となります。
月額20,000円から120,000円からの選択です。

宮崎県看護師等修学資金

- 卒後すぐに県内の200床未満医療機関に5年勤務すると返還免除。
月額36,000円。
ただし推薦可能人数が少数。

高等職業訓練促進給付金

- ひとり親世帯などが対象となる給付金です。
- 詳細については市町村役場の担当部署へお願いします。

宮崎市郡医師会病院奨学金

- 詳細については宮崎市郡医師会病院人事課（代表：0985-77-9101）までお問い合わせください。



宮崎市郡医師会病院と隣接

隣接する宮崎市郡医師会病院をはじめ、近隣の病医院で看護助手として働きながら、看護師の免許が取得できます。

一部の臨地実習は宮崎市郡医師会病院で行います。また、その現場で働く医師や様々な職種の医療従事者が講師となり、専門分野について教えてもらえます。

最新の医療機材（ECMOや人工呼吸器）を借りることができ、直接、臨床工学技士から取り扱いの説明を受け、実際に手に取って触れることができます。

病院職員食堂利用可能

宮崎市郡医師会病院の職員食堂を利用することができます。

職員食堂は、「日替わり定食」と「バラエティ定食（丼ぶり、麺類）」に小鉢などが用意されています。その他「うどん」に「カレーライス」もあります。

また、不定期で特別メニューなどのフェアもあります。



院内コンビニ利用可能

医師会館1階にローソンがあります。お弁当やおにぎり、サンドイッチにお惣菜などに加え、ポテトや唐揚げなどの軽食、また文房具や日用品も揃っています。他にもATMや公共料金の支払い、チケットの購入や日本郵便の郵送依頼などが学校に着いてからできますので、非常に便利です。

病院トレーニングルーム利用可能

看護学校実習室内に宮崎市郡医師会病院の院内研修用器材を設置しており、講義・デモンストレーションなどを行いながら、医師・看護師が診療技術の研鑽を行っています。

研修用器材については学生も利用可能です。

校内施設



情報処理室

情報室には 42 台のデスクトップパソコンを整備。医師会病院の情報担当スタッフが講義を行います。

実習室

手術手洗いや沐浴槽、在宅看護実習スペースを備えています。



手術手洗い



沐浴槽



多目的ホール

食事や自習などで利用可能です。



講堂

スクール形式で150名使用可能な講堂があります。

トイレ

1日2回、業者による清掃を実施している清潔なトイレです。



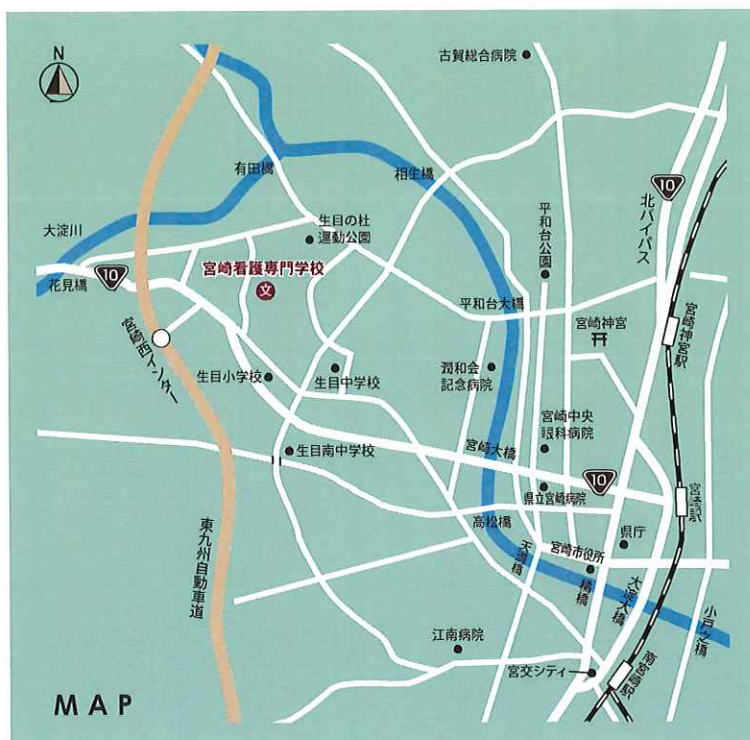
図書室

学校専用の図書室あり。自習に利用できます。

駐車場

医師会諸施設で847台の駐車スペースあり。自動車やバイクでの通学が可能です。





公益社団法人 宮崎市郡医師会 **宮崎看護専門学校**



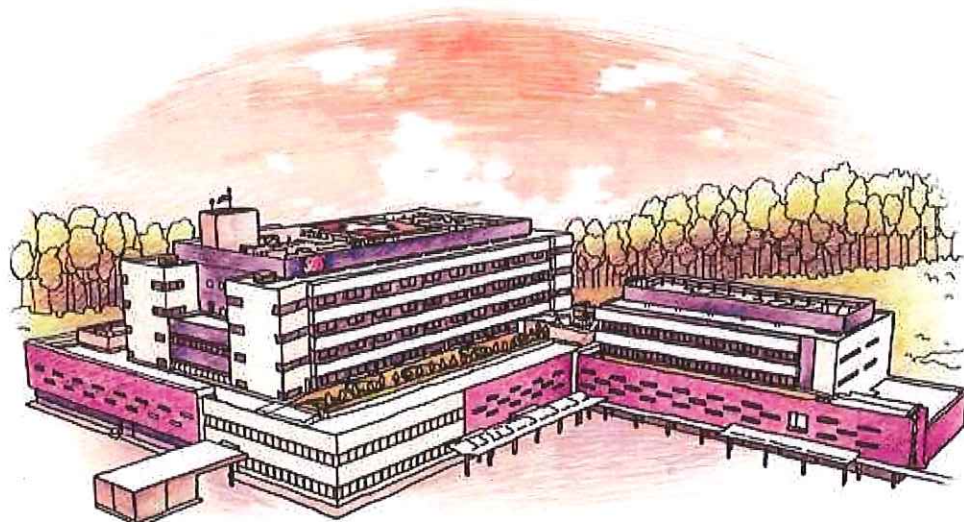
〒880-2102 宮崎県宮崎市大字有田1173番地
 Tel:0985-77-9102 Fax:0985-77-9122
<https://www.cure.or.jp/miyazaki-kango/>

ホームページは左記二次元コードからご覧いただけます

バスなど交通アクセスにつきましては学校ホームページに掲載しています。

各種公式SNSで情報発信中

							
---	---	---	---	---	--	---	---



MIYAZAKI NURSING TECHNICAL SCHOOL GUIDANCE